



OTC薬の添付文書を読み解く① 使用上の注意 「してはいけないこと」 鼻炎薬 (1)

OTC薬を使用する前にぜひ読んでほしいのが「添付文書」です。本当は購入前に見ることができれば良いのですが、一般的には難しいでしょう。

それでは、実際にOTC薬を買って帰り、箱を開いて添付文書を見たAさん(55歳男性)と一緒に添付文書を読んでみましょう。

Aさんが買ったのは、「パブロン鼻炎錠S64錠」です。血管収縮薬ブソイドエフェドリン塩酸塩を主成分とし、抗ヒスタミン薬カルピノキサミンマレイン酸塩を含む製剤です。

Aさんはスギ花粉症もありますが、一年中鼻炎薬が手放せないとのことでした。

パブロン鼻炎錠S添付文書

「使用上の注意」として真っ先に書かれていたのは、

★してはいけないこと…この項目は、どの薬でも外箱に記載されている“禁忌事項”です。

1. 次の人は服用しないでください

(1) 次の症状がある人：前立腺肥大による排尿困難 (2) 次の診断を受けた人：高血圧、心臓病、甲状腺機能障害、糖尿病

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください

他の鼻炎用内服薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬(かぜ薬、鎮咳去痰薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬)、塩酸フェニルプロパノールアミンを含有する内服薬(かぜ薬、鎮咳去痰薬)

3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください(眠気や目のかすみ、異常なまぶしさ等の症状があらわれることがあります)

4. 長期連用をしないでください

Aさんには該当項目がありました。血圧が高く降圧薬を飲んでいるし、車の運転もしています。それに長期連用もしていました。これまで気にしたことはないそうです。Aさんは普段から、かぜの時には総合かぜ薬を飲んでいて特に問題はないそうですが、実はAさんはかぜ薬を飲むときにも注意が必要です。総合かぜ薬にも血管収縮薬ブソイドエフェドリン塩酸塩と抗ヒスタミン薬を含む製剤があるからです。鼻炎症状がづらいAさんはどうしたらよいのでしょうか？

*強力な鼻水止め(ブソイドエフェドリン配合)は“使ってはいけない”ことを説明し、排尿困難や目の病気がないことを確認して、抗ヒスタミン薬を主成分とする鼻炎薬を奨めました。こちらの薬には、高血圧や心臓病に対する禁忌はありませんが、車の運転等に対しては同様に禁忌注意があることを伝えました。眠気が少ない抗アレルギー薬や漢方薬もありますが、高血圧など使用を避けるべき場合もあります。かぜ薬を飲むときにも成分に注意が必要ですから薬剤師等に相談しましょう。

